

- ① 食品中かび毒のリスクに関する研究 (22230801)
課題の採択に当たっては、かび毒（特に、ゼアラレノン、デオシキニバレノール・ニバレノール以外のトリコテセン系かび毒、シトリニン）のリスク評価に資する毒性及び曝露評価研究を優先的に採択する。
- 研究費の規模：1課題当たり 18,000千円 ～ 22,000千円程度（1年当たりの研究費）
- 研究期間：1～3年
- 新規採択予定課題数：1課題
- ② 冷凍食品の安全性確保のための管理手法に関する研究 (22230901)
課題の採択に当たっては、冷凍食品全般について、流通実態に即し、かつ国際動向を踏まえたリスク管理手法を確立するために、有用な科学的知見を提供する研究を優先的に採択する。
- 研究費の規模：1課題当たり 27,000千円 ～ 30,000千円程度（1年あたりの研究費）
- 研究期間：1～3年間
- 新規採択予定課題数：1課題
- ③ 食鳥・食肉処理工程等におけるリスク管理に関する研究 (22231001)
課題の採択に当たっては、食鳥・食肉処理等（加工工程等を含む）における効果的なリスク管理手法の確立を目的として、病原微生物等の汚染実態や汚染量の動態調査、病原微生物等の制御方法の開発（殺菌剤の使用等）、疾病診断に成果が期待できる研究を優先的に採択する。
- 研究費の規模：1課題当たり 20,000千円 ～ 30,000千円程度（1年当たりの研究費）
- 研究期間：1～3年間
- 新規採択予定課題数：1課題
- ④ 食品中の自然毒のリスク管理に関する研究 (22231101)
課題の採択に当たっては、食品中の自然毒のリスク管理手法の確立を目的として、リスク情報の収集、食品中の自然毒含有実態調査や動態調査、自然毒の制御方法の開発に成果が期待できる研究を優先的に採択する。
- 研究費の規模：1課題当たり 10,000千円 ～ 15,000千円程度（1年当たりの研究費）
- 研究期間：1～2年間
- 新規採択予定課題数：1課題
- ⑤ 食品中の病原微生物等のライブラリーシステム構築に関する研究

(2 2 2 3 1 2 0 1)

課題の採択に当たっては、食中毒検体等に含まれる有害微生物及びその産物等のライブラリーシステムを構築し、それらの情報の関連性の解明、さらにその解析に資する技術の開発及び地方衛生研究所等食品安全関係機関との連携モデルの構築について成果が期待できる研究を優先的に採択する。

研究費の規模：1 課題当たり 25,000千円 ～ 30,000千円程度（1年当たりの研究費）

研究期間：1 ～ 3 年間

新規採択予定課題数：1 課題

⑥ 食品中の病原ウイルスのリスク管理に関する研究 (2 2 2 3 1 3 0 1)

課題の採択に当たっては、病原ウイルスによる食中毒予防に有用なリスク管理手法の確立を目的として、食品中の病原ウイルスの汚染実態や汚染量の動態調査、病原ウイルスの制御方法の開発に成果が期待できる研究を優先的に採択する。

研究費の規模：1 課題当たり 32,000千円 ～ 35,000千円程度（1年当たりの研究費）

研究期間：1 ～ 3 年間

新規採択予定課題数：1 課題

(化学物質対策研究分野)

① 食品に含まれる重金属に関する研究 (2 2 2 3 1 4 0 1)

課題の採択に当たっては、最新の国際的知見を踏まえ、また、我が国の食習慣を考慮した上で、食品に含まれる重金属（特に、カドミウム、鉛、ヒ素）の健康影響を明らかにする研究を優先的に採択する。

研究費の規模：1 課題当たり 10,000千円 ～ 20,000千円程度（1年当たりの研究費）

研究期間：1 ～ 3 年

新規採択予定課題数：1 課題

② 食品用器具・容器包装、乳幼児用がん具及び洗浄剤の安全性向上に関する調査研究

(2 2 2 3 1 5 0 1)

課題の採択に当たっては、食品用器具・容器包装、乳幼児用がん具及び洗浄剤の安全性向上について、国際的動向を踏まえた調査研究並びに実際に適用する安全性向上の方法（規格基準の設定等）に関する研究を優先的に採択する。

研究費の規模：1 課題当たり 10,000千円程度（1年当たりの研究費）

研究期間：1 ～ 3 年

新規採択予定課題数：1 課題

- ③ 食品中の複数の化学物質による健康影響に関する調査研究 (22231601)
課題の採択に当たっては、食品中の化学物質(添加物、残留農薬、汚染物質等)の長期又は短期の複合曝露による健康影響について、原因物質の同定法の確立、曝露実態の把握、健康影響の評価方法等に関する調査研究を優先的に採択する。

研究費の規模：1課題当たり 20,000千円程度(1年当たりの研究費)

研究期間：1～3年

新規採択予定課題数：1課題

- ④ 食品中のダイオキシン類等有害物質濃度の実態把握に関する研究(22231701)
課題の採択にあたっては、食品中のダイオキシン類等有害物質について、食品中の有害物質濃度分析法の開発、汚染実態調査及び食品からの摂取量に関する調査(トータルダイエット調査)などに成果が期待できる研究を優先的に採択する。

研究費の規模：1課題当たり 100,000千円～120,000千円(1年当たりの研究費)

研究期間：1～3年

新規採択予定課題数：1課題

- ⑤ 母乳のダイオキシン類汚染の実態調査と乳幼児の発達への影響に関する研究
(22231801)
課題の採択に当たっては、母乳中に含まれるダイオキシン類濃度を測定し、汚染の地域差や経年的変動を明らかにし、その乳幼児の発達への影響との関係について解析を行う研究を優先的に採択する。

研究費の規模：1課題当たり 15,000千円～18,000千円程度(1年当たりの研究費)

研究期間：1～3年

新規採択予定課題数：1課題

【若手育成型】

- ① 以下に示す年齢条件を満たす若手研究者が主体となって行う食品安全に関する研究
(22231901)
課題の採択に当たっては、食品リスク分析、バイオテクノロジー応用食品や健康食品等の安全性・有効性評価、牛海綿状脳症対策、添加物、汚染物質、食品中の微生物や化学物質対策、輸入食品、乳幼児における食品安全確保などの厚生労働省が行う食品安全行政の推進に資する研究を優先的に採択する。

研究費の規模：1課題当たり 5,000～10,000千円程度(1年当たりの研究費)

研究期間：1～2年